

## 社会科における「世界や外国についての学習内容」に関するアンケート

本アンケートでは、現行の小学校社会科の内容構成や時間数にとらわれず、「これから的小学校社会科で子どもたちに何を学んでほしいか」という視点から、先生方の自由な発想でのご意見をお聞かせいただきたいと考えております。選択形式の質問へのご回答に加えて、自由記述の質問についても、ご記入いただければ幸いです。

第一次締切 8月20日(水)

最終締切 8月31日(日)

### I. 小学校社会科における世界に関する学習について

質問1：次の内容は、中学校社会科地理的分野A「世界と日本の地域構成」の大まかな内容です。小学校社会科で扱うことが「子どもたちにとって適切である」または「子どもたちが理解・習得できる」と考えるものがありますか。現行の小学校社会科の内容や時間数は考慮せず、あてはまるものをお選びください。(複数回答可)

- 緯度と経度（地球上の位置を示す概念、仕組み、赤道、本初子午線、北半球、南半球）
- 大陸と海洋の分布（6大陸と3大洋の大まかな形状と位置関係）
- 主な国々の名称と位置（主要な国（面積の広い国や狭い国、人口の多い国や少ない国、日本と関わりの深い国）の位置や国名）
- 我が国の国土の位置、領域の範囲や変化（世界の中での日本の位置、近隣諸国との位置関係、日本の領土・領海、領空の広がり、排他的経済水域）
- 時差（時差の仕組み）

質問2：質問1で「小学校で扱うことが適切である、扱うことができる」と回答した理由としてあてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- 小学生が興味関心をもちそだから
- 小学生でも十分理解できる内容だから
- 現行の小学校社会科で既に同様の内容をある程度扱っているから
- 外国語等の学習で世界について取り扱っているから
- 小学生から世界について知ることが必要だから
- 世界の多様性に気付くことが大切だから
- その他

質問3：次の内容は、中学校社会科地理的分野B「様々な地域」の「世界の諸地域」(州別学

習)の前に置かれた項目の大まかな内容です。小学校社会科で扱うことが「子どもたちにとって適切である」または「子どもたちが理解・習得できる」と考えるものがありますか。現行の小学校社会科の内容や時間数は考慮せず、いずれかにあてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- 世界各地の人々の生活と環境
- 世界の人々の生活(衣食住、産業、文化など)や環境は多様であること、(暑い地域、寒い地域、山岳地域、島嶼地域などの特色ある自然環境を事例に)各地の生活は、その地域の気候や植生などの自然環境や社会的条件から影響を受けて特色づけられたり、それらに影響を与えたことの理解
- 世界の宗教と生活(世界の主な宗教とその分布、宗教と生活との関わり)

質問4: 質問3で「小学校で扱うことが適切である、扱うことができる」と回答した理由として当てはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

- 小学生が興味関心をもちそだから
- 小学生でも十分理解できる内容だから
- 現行の小学校社会科で既に同様の内容をある程度扱っているから
- 外国語等の学習で世界について取り扱っているから
- 小学生から世界について知ることが必要だから
- 世界の多様性に気付くことが大切だから
- その他

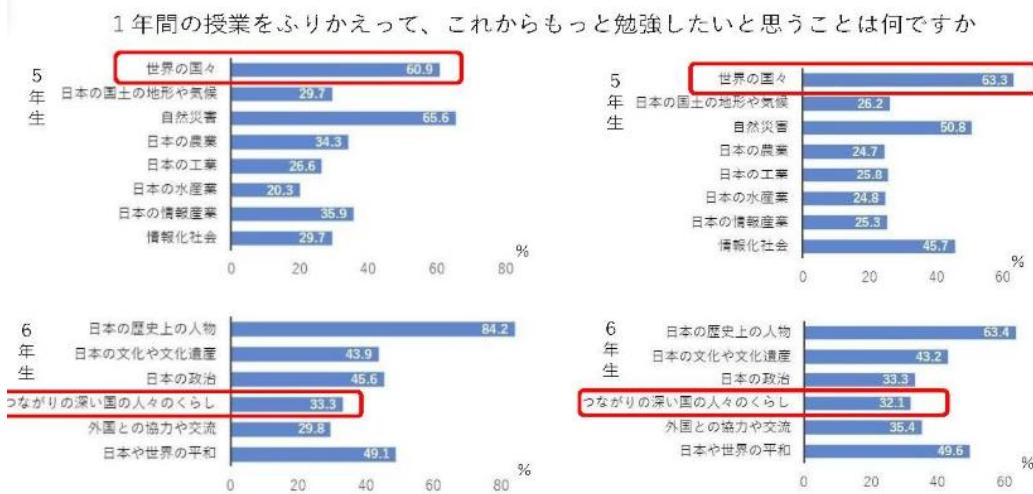
質問5: あなたは、世界に関する学習内容を取り扱う際に地球儀を活用していますか。(複数回答可)

- 積極的に活用している
- 時々活用している
- ほとんど活用していない
- まったく活用していない
- 教室に地球儀をおいていない
- 学校に地球儀がない
- その他

## II. 世界や外国についての学習に対する児童の学習意欲について

下記の図Aは「1年間の学習を振り返って『これからもっと勉強したいと思うこと』について

て、1年間の学習項目の中からあてはまるもの全て選んでください」という令和7年3月にある公立小学校で実施した児童アンケート結果です。各数値は回答者数に占める選択者の割合を表しています。この設問は、図Bの平成24年度に実施された小学校学習指導要領実施状況調査の同一設問とほぼ同様の傾向を示しました。特に、「世界や外国」に関して、5年生における「世界の国々」の学習意欲の高さと、6年生における「日本とつながりが深い国々の様子」の学習意欲の低さが両調査で共通しています。これらの結果について、先生方のお考えをお聞かせください。



図B: 平成24年度小学校学習指導要領実施状況調査における結果 (文科省調査結果データより作成)

質問6: 児童アンケート結果において、5年「世界の国々」が高い結果になったことについて、児童の反応は、この結果と同様だとお考えですか。(必須)

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない
- そう思わない

質問7: 質問6でご回答いただいた理由を具体的に教えてください。児童のどのような様子や、どのような学習活動からそうお感じになりますか。

質問8: 上記のアンケート結果において6年「日本とつながりの深い国々の様子」が低い結果になったことについて、児童の反応は、この結果と同様だとお考えですか。

- そう思う
- どちらかと言えばそう思う
- どちらかと言えばそう思わない

そう思わない

質問 9：質問 8 でご回答いただいた理由を具体的に教えてください。児童のどのような反応や、授業内容、教材などに原因があると考えられますか。

質問 10：小学校社会科における「世界」や「外国」に関する学習について、特に重視すべきだと考える内容や視点、現状での課題や、児童の興味・関心を引き出す上での工夫、あるいは指導の難しさなど、先生方がお感じになっていることを自由にご回答ください。具体的な授業実践例や児童の興味深い反応などがあれば、ぜひお聞かせください。

III 最後に、今後の分析のため、差し支えなければ以下の質問にご回答ください。

質問 11：あなたの教員経験年数

1～5 年

6～10 年

11～20 年

21 年以上

その他

質問 12：あなたのご専門

社会科

社会科以外

特にない

その他

質問 13：主に担当されている、されてきた学年等

低学年（1・2 年）

中学年（3・4 年）

高学年（5・6 年）

学年主任・教務主任など（具体的な担当学年がない場合）

中学校

その他

質問 14：所属する学校の所在する都道府県

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。